

1 サッカー日本代表の話? 「司令塔機能」強化

・ サッカーファンの間では、ドイツ 2006 年ワールドカップに向け日本代表チームの中盤（攻撃をする選手と守備をする選手の間に位置しチーム全体を指揮するポジション又は選手を言う）を誰に任せるか、議論百出の状態にあります。選手として試合をリードし勝利に導く中盤の役割は、言うなればチームの「司令塔機能」そのものです。最近、統計の分野でも「司令塔機能」の強化がちょっとした話題となっています。

・ 実はちょうど 60 年前、政府関係者の中で今と同じように「統計」が大きな関心事となっていました。人々が戦後復興に立ち上がろうとした時、「統計制度」は食糧増産やエネルギー確保等と並び早急に整備すべき社会基盤だったのです。わが国のその後を見れば、統計制度が日本の復興と経済成長を支えたと言っても過言ではありません。

・ しかし、戦後 60 年が経過し社会環境が大きく変わったのにも拘らず、統計制度は抜本的な改正もなく現在に至っていることから、政府は検討委員会を設置し創設以来という根本的な見直しに着手しています。その中で、現行の統計組織（各省庁が分担して統計を作成する形）の見直し策として、統計の「司令塔機能」の強化が検討されているのです。

（注）平成 17 年 6 月 21 日の閣議決定「骨太方針 2005」には統計制度見直しが明記されています。

2 統計を見る視点（その 2）～工業統計と私たちの暮らし～

(1) 工業統計の重要な役割

・ 経済産業省パンフレットによりますと、工業統計は製造業の経営基盤の強化施策、産業集積の活性化施策などの基礎資料や中小企業施策の基礎資料として広く活用されています。工業統計がいかに重要であるかは、日本で最も古い統計（第 1 回は 1868 年）の一つであること、そして開始以来 135 年間（明治 43 年～大正 2 年、大正 4 年～7 年、昭和 18 年～19 年の 10 年分は戦争等で中断）ずっと作成され続けてきたこと等が証明しています。

・ 調査結果は、産業編、品目編、市区町村編、用地・用水編、工業地区編、企業統計編、産業再分類編等の各冊子となって幅広く利用されています。「工業のことを知りたい」「調べたい」という方は、静岡県庁東館 2 階の県民生活サービスセンターに、明治時代から最新データまでの全国・静岡県・市町村別数値が載った冊子が沢山あります（

閲覧・貸出し可）。また、経済産業省 HP の市区町村編には、昭和 35 年からの各年度数値が収録されていますので、パソコンを使えば 24 時間、居ながらにして 45 年間の市町村数値（静岡県内）を見ることができます。

(2) 工業統計の推移（静岡県）

- 静岡県が戦後辿った足跡を工業統計で見ると、全国とほぼ同じ動き（全国数値は経済産業省発行の冊子や同省HPで確認願います）となっています。まず、製造品出荷額等（修理収入等を含む）は、戦後一貫して増加してきましたが、平成3年（1991）をピークに平成6年（1994）にはピーク時の9割の水準まで落ち込みました。その後、持ち直し増減を繰り返しながら平成16年（2004）には2年ぶりの増加となりました（ピーク時を100とすると97の水準）。
- 次に、従業者数は平成3年（1991）をピークに長期的には減少傾向にあります。平成16年は、ピーク時を100とすると82の水準となっています。また、事業所数も昭和63年（1988）をピーク（19,372事業所）に長期的に減少傾向にあります。平成15年（2003）には5年ぶりに増加となりましたが、平成16年は再び減少しています（ピーク時の67の水準）。

区分 年度	総人口 (10.1 現在)	産業別就業者割合			製造品出荷 額等 (4人-)	従業者数 (4人-)	事業所数 (4人-)	全国 (4人-)	
		第1次	第2次	第3次				出荷額等	従業者数
	人	%	%	%	億円	千人	事業所	億円	千人
1950 (S25)	2,471,472	50.0	23.0	26.9	841	133	5,965	21,674	3,860
1955 (S30)	2,650,435	38.8	27.9	33.3	2,522	185	7,217	62,178	4,958
1965 (S40)	2,912,521	23.0	35.9	41.1	11,260	361	13,230	291,872	9,481
1975 (S50)	3,308,799	12.8	39.2	47.8	51,630	446	17,549	1,258,409	10,660
1985 (S60)	3,574,692	8.9	40.3	50.7	125,045	496	19,166	2,653,206	10,890
1988 (S63)	-	-	-	-	139,301	511	19,372	2,744,007	10,911
1991 (H3)	-	-	-	-	172,187	529	18,709	3,408,346	11,351
1995 (H7)	3,737,689	6.1	38.8	54.9	161,630	496	17,479	3,060,296	10,321
2000 (H12)	3,767,393	5.4	37.5	56.6	166,108	461	15,736	3,004,776	9,184
2004 (H16)	3,799,809	-	-	-	166,998	433	12,947	2,844,721	8,118

注：総務省「国勢調査」（総人口、産業別就業者割合）、経済産業省「工業統計調査」（製造品出荷額等、従業者数、事業者数）。

(3) 品目編で見た「日本一」

- 静岡県HP上の「統計センターしずおか」には、静岡県が日本一である128項目が掲載されています。その内の33項目は工業製品です。なお「その他の工業製品」には、更に工業製品45品目の日本一が掲載されています。→ <http://www.pref.shizuoka.jp/j-no1/>

(33項目例) ピアノ、電子楽器、プラモデル、人形部品、ゆかた、羽毛布団、温度計など

(45品目例) 有機質肥料、組ひも、情報用紙、アルミニウム箔、白熱電灯器具、エアコンなど

(4) 静岡県の工業統計と企業立地（全国順位の推移）

- 「工業統計」と「工業立地動向調査」結果を組み合わせることで、静岡県が製造品出荷額等全国第3位となった背景を検証することができるかもしれません。

工場立地	H8(1996)	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16(2004)
件数	19位	22位	12位	17位	4位	4位	1位	1位	1位
面積	23位	21位	14位	1位	8位	5位	5位	5位	2位
出荷額等	5位	5位	5位	5位	5位	5位	3位	3位	3位

左表の工場立地データは経済産業省HP「工場立地動向調査」等の抜粋